

和のテイストである木板と LED象嵌文字の組合せで新市場開拓

概要

縮小する商圏に対して、看板業界では全国でもいち早くネット販売に取り組み、蓄積したノウハウを強みに、同業他社では製作が困難な木製看板をベースに象嵌文字をLEDで背面から発光させるオンリーワン商品を開発販売した。

▼ 取り組みのきっかけ ▲

平成3年に創業、平成8年に法人化し、中古看板の再利用等、様々な業態開発を重ね、平成18年には全国的に見ても珍しい中古看板専門販売サイト『リサイン』、翌19年には、新品看板販売専門サイト『看板マート』を開設した。

従来の地域に限定されていた受注地域の拡大を図った結果、現在では、地域での看板製作設置が約65%、インターネット販売が35%の売上構成比になっており、三重県の地方都市に立地する看板製作事業者としての商圏は飛躍的に拡大した。

このような中、さらなる業容拡大には、看板規制の強い京都府や伊勢市で通用する「手彫り風木製看板・焼き文字木製看板」とショッピングモール内の専門店をターゲットにした「象嵌文字LEDバックライト木製看板」の効率的で精緻な制作技術の習得が必要であった。

当社の強みは、①インターネットで受注できる体制が整っている。②機械彫りの後の最終仕上げができる手彫り職人がいる。③象嵌文字看板は、アルミやステンレス等をベースとした看板制作の実績がある。

そこで、NCルーター機とレーザー加工機を導入し、短納期・安価で安定した高精度の看板作成を可能とするため下記の3点に取り組んだ。

- ①NCルーターの導入で「機械彫り木製看板」を制作する。
- ②レーザー加工機の導入で、「焼き文字木製看板」を新事業の1つの柱とする。
- ③オンリーワン商品としてアクリル板から切り抜いた文字を木製看板と合体させ、裏側からLEDをバックライトとして、文字を浮かび上がらせる「象嵌文字LEDバックライト看板」を新事業のもう一つの柱とする。

▼ 取り組みの目標 ▲

①木彫り看板製作において、NCルーターとレーザー加工機を導入して価格の引下げと納期の短縮化を図る。

②象嵌文字作成においては、組み合わせる素材が木とアクリルと異なることから特に寸法精度が必要になるため、NCルーターとレーザー加工機で新しい製作方法を取得し所要時間の短縮化を図る。

▼ 取り組みの内容 ▲

①レーザー加工機、NCルーターの発注を行い、機械の操作研修を6日間行った。

②木製看板の試験彫りと象嵌文字看板の試作を1か月かけて行い、それぞれの機械にて効率的な作成方法の確認をした。

③木製看板と象嵌文字看板の作成方法の検証と目標の評価を行った。



NCルーター（上）、レーザー加工機

有限会社タクミスタジオ

代表取締役 諏訪 幸芳

所在地：〒511-1103 桑名市長島町中川683-1

連絡先：TEL 0594-42-5156 FAX 0594-42-5489

E-mail：info@takumistudio.jp

URL：https://www.takumistudio.jp/

企業情報

従業員数：13人

資本金：300万円

創業：平成3年8月19日

創業種：その他製造業

特色：企画・デザイン・製作・施工・メンテナンスを一貫体制で対応し、魅せるサインを創造して知識と経験とアイデアで、安全で良い看板をご提供。

▼ 取り組みの成果 ▲

木彫り看板製作については6時間50分、象嵌文字看板については7時間20分、従来の作成方法より短縮でき、製品の精度が上がりバラツキも少なくなった。

また、意匠性の高いデザインや紋様などの多種多様な看板が制作でき、繊細かつ普遍的なデザインも容易に取り入れる事ができオリジナリティーあられる看板製作が可能となった。

従来からのインターネット販売から把握できたこと、また、ハイテク機械を使いこなす若い人材が

育ってきていることが目標達成の要因として上げられる。

今回の機械導入により、①制作時間の大幅短縮が図られたこと②標準的な木彫り看板が約35%価格を引き下げられたこと③看板精度の工場と効率化が図られたことから、今後は、広範囲の市場への進出を図る。

また、ネット検索上の優位性からネットでの受注の確保に繋げていく。

▼ 開発製品・技術等のアピール ▲

「和」のテイストを表現する木彫り看板を安価・短納期に提供し、顧客の満足度が高まり、継続的な発展を目指すことが可能になった。

象嵌文字看板については、NCルーターとレーザー加工機で象嵌文字が制作可能となり、いろいろなパターンでバリエーション豊かな看板製作が可能になり顧客への提案やニーズに応えることができる。

▼ 今後の展望 ▲

愛知・岐阜・三重を中心に企画・デザイン・制作・施工・メンテナンスを一貫体制で行い、12m式高所作業車と移動式クレーンで高い場所にも対応できることもあり、個人店舗看板をはじめ大型広告看板まで幅広く手掛けていく。

看板業界といえば「職人の技能」による製作というイメージがある。当社では大型印刷機をはじめNCルーター、レーザー加工機など、最新機器を使っている製作が中心である。若手社員はこういった機器を駆使して生き活きと働いており、女性社員も制作企画に取り組んでいる。

現在、コロナ禍にあって外食産業の新規出店は停滞しているものの、ポストコロナに時には、大きく業容を拡大する可能性を秘めている。

＜所要時間比較＞

(1)木製看板

項 目	所要時間	
	従来	実績
①文字データ制作工程	60分	20分 (平均は25分)
②版下製作工程	60分	
③トレース工程	60分	
④彫り工程	300分	50分
⑤合計所要時間	480分	70分
⑥改善効果	480分-70分=410分 6時間50分の短縮	

(2) 象嵌文字看板

項目	所要時間	
	従来	実績
①文字データ制作工程～ ③までは上記と同じ工程	180分	90分
④木版貫通彫り工程	300分	
⑤アクリル板切り文字工程	外注先で20分	20分
⑥接合工程	最低120分以上	10分
⑦合計所要時間	620分	120分
⑧改善効果	660分-120分=440分 7時間20分の短縮	